

「話のたねのテーブル」より

ジャックフルーツって、ジャックさんの果物？

鈴木邦彦

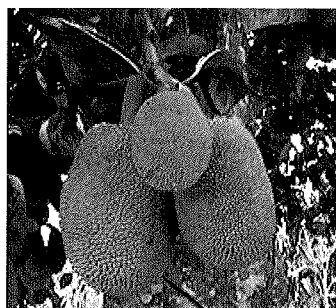
ジャックフルーツ(英名: Jackfruit, 学名: *Artocarpus heterophyllus* Lam.)は、何となく人の名前を表しているように聞こえる。ジャックさんが見つけた、とかジャックさんの庭にあった果物などと考えがちだが、原産地の南インドでは「丸い」という意味をtsjakaと言い、これをポルトガル人がjaka(ジャッカ)と伝えたため、Jakfruitと呼ばれるようになった。そして英語ではJackfruitになった。

この果実は、不思議なことに枝先ではなく、太い幹や太い枝に直接ぶら下がる。果実は非常に大きく、1個が10キロから20キロもある。場合によっては30キロ以上の見事な果実を着けることもある。このように大きな果実では、枝先に着けたら重みで枝が折れてしまうだろう。幹から出た短く太い枝に着くことで果実が発育し、成熟することができるのだ。

本種はクワ科植物であり、果実はクワと同様、集合果という形状で、軸の周辺にたくさん果実が固まって着いている。後述するパンノキとともに異常に大きくなったクワの実という感じである。外皮は硬く、包丁で切り裂くのも大変である。果皮からは白い乳液が出て包丁にこびり着き、乾くとゴムのように固まってしまう。個々の果実は、種子の周りにややゴム質の甘い果肉があり、熱帯の果実特有の香りがあって美味しい。

近縁の植物にパンノキ(*A. altiss* Fosb.)がある。ジャックフルーツとは違って、果実は枝先に着く。多くの系統では種子がなく、果皮を剥いで加熱すれば容易に食料として利用できる。果実はジャックフルーツほど大きくはないので、枝先が折れるようなことはない。

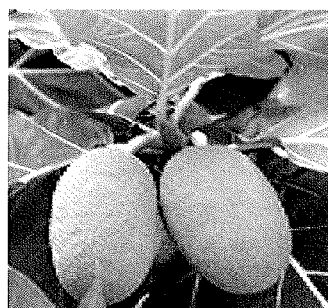
(話のたねのテーブルNo.111より転載)



▲ジャックフルーツの果実



▲果肉の中心に1個の種子



▲枝先に着くパンノキの果実

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
<http://www.japr.or.jp/>

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小川 奎
発行人 植調編集印刷事務所 元村 廣司

発行所 東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話 (03) 3833-1821 (代)
FAX (03) 3833-1665

平成22年11月発行定価525円(本体500円+消費税25円)

植調第44巻第8号

(送料270円)

印刷所

(株)ネットワン